

令和4年第1回奥出雲町教育委員会定例会会議録（要約）

日 時 令和4年1月19日（水）
開 会 15時00分
閉 会 16時45分
場 所 横田庁舎 2階 第一会議室
出席委員 福田充雄教育委員 谷尻教育委員 荒金教育委員 高橋教育委員
委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長
岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

教育長

新年を迎えた。この1年色々と迷惑をかけると思うが、願います。

教育委員会の主催行事としては、令和2年度、令和3年度の成人式を開催し、両方合わせて110名ほどが参加した。その段階でオミクロン株の感染拡大があり、心配していたが、無事に終えることが出来た。今日の議題に挙げているが、新型コロナウイルス関係で気を許せない状況が今後、当分続くと思っている。

今年度は、3月のところで学校再編について意向を表明してもらおう事が1つの山だと思っている。その後についても様々な事があると思うが、願います。

参加者4名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 荒金委員

これより報告に入る。

報告第1号 新型コロナウイルス感染症への対応等について
事務局から説明を求める。

事務局

※資料により説明

資料1. 文部科学省から新型コロナウイルス感染が確認された場合のガイドラインが再周知された。昨年8月、9月頃、感染が拡大していた時期に国は県を通じて市町村へガイドラインを通知していた。年明けから急激に感染拡大が起きている現状から再度内容を確認して準備して欲しいという内容。

オミクロン株の感染拡大下での学びの保障及び受験機会の確保について今年1月11日付の資料を添付している。その中に臨時休業の考え方がある。新型コロナウイルスの感染拡大が始まった頃には、当時の安倍首相が鶴の一声で学校を全て臨時休校にしたことがあったが、学校の臨時休業については、学校設置者が判断することが基本であり、国から全国一斉の臨時休業を要請することはないと明言している。今後の感染状況を踏まえながら奥出雲町内の学校の臨時休業等については、町で判断しないといけない。どの程度の休業日数にするか等は国が示しており、それに基づいて対応しないといけない状況。それらを踏まえて町として今後どのようにして

教育長

いくかという事の検討案を作成している。内容については、教育長から説明をする。

案の段階であるが、現時点の新型コロナウイルス感染は、ほとんどオミクロン株だと想定し、その想定に基づく感染防止策、学級・学校閉鎖の基本的な考え方をまとめた資料を添付している。臨時休校、解除等に関しては、保健所等の指導に基づくこととしているが、ここ数日間、保健所の指示が若干遅れがちになっている。保健所から特に指導・指示がない場合は、奥出雲町教育委員会として資料の対応を基本とする。この資料の基本として、1月17日の段階でオミクロン株に対して知見で言われているものを基にしている。デルタ株等と比較し、感染力がかなり強く、おおむね3日程度が潜伏期と認められ、デルタ株等と比較すると短くなっている。感染後9日から10日程度でウイルスの有無が確認できなくなる。これは体内からウイルスが消失し、感染拡大のリスクがほとんどなくなると言われている。一般を対象として濃厚接触者の隔離、外出自粛の要請期間が10日に短縮される。以上のオミクロン株の知見を踏まえ、当面資料の対応を基本とする。

誰かが陽性となった場合、潜伏期がだいたい3日、保健所の調査でも2日ないし3日程度さかのぼって行動履歴を聞いているため、念のために4日程度を潜伏期とみている。隔離期間は、現状14日、2週間なので感染者はその期間、隔離という事になる。濃厚接触者に関しては、濃厚接触者の判定が行われ、その後検査が行われる。この際に陽性が判明した場合、次の対応に移行する。陽性反応が出なかった場合は、だいたい4日から5日目にもう一度検査を行い、現状ではその検査で特に問題が無ければ8日程度で職場復帰・現状復帰という対応がされ始めている。学校の閉鎖期間は、陽性判定がなされてから、濃厚接触者が4日から5日で判明するという点で考えると第一段階で7日間の学校・学級閉鎖をしたかどうかという考えを持っている。その中でさらに感染が拡大する、濃厚接触者が増加するような状況になれば相談の上で11日、2週間の方向で持っていきたいと思っている。県内の状況だと浜田が2日ないし3日程度の学校閉鎖をしている。雲南市の情報は無いが、出雲市については、当面の間という事で動いている。教育長にどのような会議をするかという事を聞いた際、保健所の指示を待っているが、保健所から返答がないと、つい1週間前に聞いている。閉鎖する学校が徐々に広がっている関係で会議が難しいという状況があると思っている。学校閉鎖については、とりあえず1週間様子を見ながら更に延長するという動きをしたいと思っている。

学校関係者、児童・生徒、教職員がPCR検査で陽性反応が確認された場合、感染拡大防止の観点から学級・学年、あるいは学校閉鎖（以降は学級・学年・学校閉鎖をまとめて学校閉鎖と言う）で対応する。学校閉鎖の期間については、1週間程度を目安とする。判明した当日は、可能な範囲で児童・生徒の早期下校の対応を取る。学校閉鎖の内容については、感染者の行動履歴、判明した曜日、例えば月曜日に判明した場合と土曜日に判明した場合では当然、対応が違うと思っている。感染者の行動履歴、学校行事等の状況を踏まえ、学校と教育委員会で協議の上、決定するが、個人の特定や憶測がなされたりしないように十分に配慮する。小さな学校の場合、学年閉鎖をするとすぐに特定されてしまうため、基本的に学校閉鎖という形を取ら

	<p>ざるを得ないと思っている。学校閉鎖 5 日目ないし 6 日目に感染判明者の行動履歴、濃厚接触者の検査結果などを踏まえ、学校閉鎖の期間について学校と教育委員会で協議をする。状況によっては、閉鎖期間を延長することを当面の対応として考えているため、それに対して意見をいただきたい。</p> <p>現在の奥出雲町でのオミクロン株と思われるコロナウイルス等の状況について幼児園関係、小中学校関係の大まかな報告をする。</p> <p>小中学校関係。</p> <p>1 月 13 日に町内の中学生の兄弟に PCR 検査で陽性反応が出た。この生徒については、自宅待機をしている。同日、高校では、生徒が PCR 検査で陽性反応が出た。同日に別ルートで 2 件陽性反応が出た。これを受けて町では、対策会議等を行った。高校では、陽性反応が出た影響で指定された関係者、学校勤務者、兄弟がいる者等、町内多数の学校で濃厚接触者、または酷似した関係者という事で 13 日～昨日までに学校を休む者が多く出た。高校では、17 日集団検査を実施し、その結果、検査対象者は全て陰性という報告を受けている。だが、濃厚接触者が 20 名程度指定されており、その者については、自宅待機をしている。学校再開は、20 日だと聞いている。この間、小中学校の兄弟等については、自主的に休みを取った者、指定を受けたため休みを取ってもらっている者もいるが、それ以上の感染の報告は受けていない。町外から勤務している教職員においても濃厚接触者に指定された者、同居者に陽性反応等があり、現在、自宅待機をしている者もいる。幸い、今のところ勤務している教職員の中で陽性反応が出たという報告は聞いていない。昨年 9 月にフローを決めているため、それに従って各学校の方で対応させてもらっている。</p> <p>幼児園関係</p> <p>13 日木曜日に園の職員で濃厚接触者と判定された者がいた。これを受けて園では、翌日の金曜日から休園している。家庭で保育が出来ない家庭のために受け入れ希望を取ったが、13 日は児童クラブ、園共に希望者はなかった。濃厚接触者は、金曜日に PCR 検査を受けて陰性、18 日に 2 回目を受け陰性だったため、本日から園は通常通り開園している。該当職員については、今週の金曜日から復帰予定にしている。</p> <p>13 日木曜日に園の職員の配偶者が濃厚接触者と判断された。その職員も金曜日から休みを取っている。PCR 検査は、金曜日に陰性、2 回目を日曜日に受けて陰性、3 回目を今週の土曜に受ける予定にしている。土曜日の結果が出るまでその職員は休む。</p>
事務局	<p>小中学校の場合は、教職員の同居家族、同居者が濃厚接触者になった際、基本的に学校への勤務を止めてもらう事になっている。この場合は、特別休暇で対応する。この関係で、教職者が濃厚接触者の検査によって陽性反応が出た場合は、必然的に隔離になり、3 日程度さかのぼって学校で勤務している事実があれば学校の同僚、教職員の何名かが濃厚接触者として判断される。その段階で勤務を控え検査を受け</p>
教育長	

る。この場合、高尾や三沢などの小さな学校では、教職員が居ない状況が生まれるため、学校閉鎖をしなければいけない。子供達に影響がなかった場合、GIGA スクール関係で配布したブック PC、タブレット PC を持ち帰ってリモート授業等、コロナウイルス感染が拡大している現状を踏まえ、先日の校長会で早めに使わせて欲しいと伝えた。その後、様々な校長に話を聞くと今週は持ち帰り週間にし、持ち帰って利用させている等、聞いている。合わせて在宅勤務、リモートでの授業に限った形になると思うが、その対応が出来るような規則、学校への指示を作っている。

現状、奥出雲町の感染拡大の可能性は 0 ではないが、先般の判明以降は昨日、本日共に雲南保健所管内では感染者が出ておらず、なんとか足踏みをしているところ。

学校訪問をお願いしているが、様々な心配があると思っており、それぞれの考えで地元だけ訪問する、訪問を止めるという判断をするのはかまわないと思っている。学校、子供達、町内で感染が発生していない現状では予定通り実施をさせてもらう。学校行事等も学校長の判断で可能な範囲で子供たちの学びを止めない範囲で今後進めていく事を基本方針として示している。

事務局

補足。休園関係。保育の希望者が 17 日月曜日に 5 名、昨日火曜日は 2 名おり、保育をしている。

谷尻委員

噂ばかりが出ており、真偽が掴めていなかった。私も保育所関係はだいぶ分かっていた。

学校訪問の事が気になっていた。私たちは訪問する側だが、受け入れる側の学校の先生方のコロナウイルス感染症への対応等の心労を思うとあえて行かなくてもよいのではないかと思っている。消毒や換気、子供の健康状態やタブレット学習などを実施している事を考えると無理に訪問する必要はないのかなと思っている。学校訪問を発案した時期は、昨年のおごろ、コロナウイルスが落ち着いていた時期だと思う。現状では、訪問をやめた方がいいと思っている。いくら人数を限って少なくしたと言っても外部からの訪問、ましてや教育委員会サイド訪問だとプレッシャーになるのではないかという思いを持っている。やめるという事はできないのか。

教育長

奥出雲町で働く教職員が 130 名程度おり、その中の 70 数名が町外から通っている。そのため、私の立場としては、感染が広がるため町外からくるなと言う事はありえないと思っており、現状の奥出雲町の教職員の構成からいうとむしろ訪問する事を心配している。そこが心配だから遠慮するという判断が当然あり得るだろうと思っており、そのことは議員にも話している。

現実問題として高校の関係で兄弟が濃厚接触者になった者より一斉検査の関係で自主的に休んだ者がかなりの数いた。保護者、児童・生徒、支援員は全員陰性だったため全員復帰している。現在、家族、同居者に陽性反応が出たため 2 名の教員が休暇を取っている。1 名はまだ検査中で結果が出ていない。

気持ちとしては、今後、町内で新型コロナウイルスの発生、あるいはその学校で陽性者が出た場合は当然、学校訪問はやめるが、現状では続ける。

福田委員	情報を貰いながら私たちが判断してやるしかないと思っている。
教育長	学校の状況によっては検討するという話はしている。あまり心配をしすぎて様々な事を全て止めてしまうも良くないという気がしている。他に何かあるか。
福田委員	心配だが、これだけの方向性を出している。これを基に判断をしてもらえればいいと思う。
教育長	社会教育関連になるが、一番心配しているのが公民館、コミセン関係。多くても3~4名の職員しかおらず、誰かが濃厚接触者になれば当然一緒に勤務している職員も対象になる。そうなると閉鎖せざるを得ないが、閉鎖を発表することは、すなわち、特定に繋がるが、開けておくわけにもいかない。どのような対策がいいのか皆で悩んでいるが、まだ結論は出ていない。
福田委員	役場職員を派遣する事が一番良いが、それは大変だと思っている。地域の中でやってくれる者が居ればお願いしてでも開けた方がいいのではないか。陽性者1名で公民館を閉鎖するのは良くないと思っている。
教育長	教育委員会でもそのような事を思っている。今回の学校訪問は、様々な懸念がある中で行っている。
事務局	<p>報告第2号 奥出雲町教育版タウンミーティングについて</p> <p>※資料により説明</p> <p>タウンミーティングは、協議会以外からも広く意見を聞く場を持つべきではないかという指摘を議会等から受け、遅くなったが、予定では2月20日、日曜日に横田地域の部、仁多地域の部を午前・午後に分けて行いたいと思っている。場所は、カルチャープラザ仁多、参加者は、町の執行部、各校区別協議会から2名ずつ程度の参加をお願いしたいと思っている。町議会議員には、全員へ個別に案内を送付し、出欠の確認をしようと思っている。教育委員には、都合が付けばそれぞれの所属の地域に出席して欲しいと思っている。各校区2名ずつの参加だが、お願いしたい。その他、一般公募枠は、総合計画策定に関わった団体が16団体あり、その中から希望する団体、それに加えて一般公募、各30名ずつを予定している。全体では50~60名程度のタウンミーティングになると思っているが、感染状況に応じて中止等の可能性もあるとアナウンスしようと思っている。内容については、表題に「奥出雲町の学校教育のこれから」、サブタイトルに「子供たちの豊かな学びのために」を掲げている。再編方針の修正で考えたものを基に再編が主な内容になると思うが、今後の学校教育について様々な意見を貰いたいと思っている。様々な方面から指摘を貰っているが、それぞれの思いが共有できていないという現実がある。プログラムとしては、ただ意見を聞く場ではなく、教育委員会と協議会がどのような事を考</p>

えてきたのかという事を共有できる場、時間を作りたいと思っている。今回、司会を〇〇さんをお願いしている。この方は、以前、横田高校の魅力化コーディネーターとして勤めていた〇〇さん。この方に司会を引き受けてもらって会を進めたいと思っている。

最初の部分では、それぞれが学校再編や学校教育で思ったことを共有し、次の部分では、協議会の場で発言できなかった者、発言する機会が無かった者、出来れば議員からも思いを伝えてもらいたいと思っている。それを経た上でそれぞれの立場で質問や意見交換をしてもらいながら今後の学校教育について、意見等を貰いたいと思っている。予定では、2月14日にとりまとめを行い参加者が決定するため、その後、次の定例会の調整をさせて欲しいと思っている。だが、2月は、教職員の人事案件があり、毎年早めに定例会を行っている。その日には間に合わないため2月にもう一度、臨時会という形で教育委員会を開催させてもらい、その際に再度タウンミーティングに向けた準備・調整をさせて欲しいと思っている。予定としては2月18日と思っている。

教育長

タウンミーティングについては、大変遅れており、現状ではオミクロン株の関係も出てきているが、カルチャープラザ仁多の出来るだけ広い会場を確保した上で60～70名程度で内容・人数共に過密にならないように行おうと思っている。今まで様々な機会でも話をさせてもらったが、現状、仁多地域・横田地域それぞれで学校再編について様々な考えを持っている者がいる。1つは、発信の仕方が悪かったかもしれないが、そのような者に十分意図が伝わっていないところがあるため、その意図をしっかりと伝える事が1つ。もう1つは、それぞれの立場の意見を聞きながら、副題である「子供たちの豊かな学びのために私たちが出来ること」のために、それぞれの立場で今後の学校の教育について考えて欲しいという主旨で行わせて欲しいと思っている。お願いしたい事は、それぞれ都合が付くようであればそれぞれの地区から参加して発言して欲しいと思っている。

その他

事務局

19日に横田小校区別協議会が開催される関係で急遽、委員の全員へ連絡をした。これは、協議会から町長、副町長、教育長だけではなく、委員にも参加してもらえないかという打診があったため。福田委員と荒金委員に参加してもらう事になった。

事前に横田小校区協議会から質問を貰っており、過去の質問と重複するものもあるが、これを基に町としてはどの様に思っているのか、再編に対しての考え方を当事者に聞かせて欲しいという事で協議会が集まると聞いている。自治会にも声掛けをしたが、オミクロン株感染拡大の関係で自治体からの参加者については、横田コミュニティセンターで傍聴するという形で参加すると先般、代表者から連絡があった。そのため、協議会からの20名と町からの執行部と委員で意見交換を行う形になると思っている。なお、横田小校区別協議会の思いとしては、本日で横田小校区の再編に対する意向を取りまとめれば良いという思いを持っているそうなので、承知しておいてほしい。

	<p>結婚子育て応援課</p> <p>11月に来年度の各幼児園の申し込みを募集し、その速報が出た。4月1日付の入園者の合計が314名、途中入園、主に0歳児が対象になるが、これが23名、合計で337名の入園を予定している。参考に今月1日現在の園児数は合計360名。</p>
教育長	一番多いところが三成、次が横田。少ないところは、八川、馬木で良いか。
事務局	八川が17名で一番少ない。
教育長	今年度、現在出生が分かっているのは何人か。
事務局	12月末、今年度については34名。
教育長	昨年度は3月までに40いくかいかないかという状況だった。暗い話になりそうで申し訳ない。他にあるか。
事務局	2月の定例会だが、人事案件があるため去年は2月9日に行った。今年は2月8日でいかがか。事務所へ内申報告を行う必要があり、この日をお願いできればと思っている。この日は、午前・午後共に学校訪問があり、午前の訪問先が横田小学校になっている。高橋委員を除く委員は出席の予定になっているため、高橋委員には相談をさせてもらう必要があるが、学校訪問後、11時半ごろに横田庁舎に移動し、30分程度の定例会を行い、そこで承認などを貰えればと思っている。
福田委員	私がかまわない。
荒金委員	かまわない。
教育長	高橋委員はいかがか。
高橋委員	その日がかまわない。
事務局	その後の2月18日にタウンミーティングについての会を設けさせて欲しいと思っている。時間については後日連絡をさせて欲しい。
教育長	人事関係。今年度、三沢の藤原校長が定年退職。三成の松本校長が4年経ったため異動の対象。他の校長は3年ないし2年の為、引き続きという形。最終的には、教育事務所、県の決定になるが、教頭については、校長と教頭の同時異動は出来るだけ避ける方向で現在動いている。3年4年目の教頭が複数名おり、ここが異動対象になると思っている。今年度は残念ながら管理職への名簿登録はなかった。昨年

度は、名簿登録が3名おり、この3名については何かしらの形で承認することで動いている。

今年から奥出雲町、飯南町が人事の特例地域に指定され、今までみなし勤務が6年間だったが、特例として4年になった。そのため、4年ならば奥出雲町でも、という教職員が若干名増えているが、現時点では、全ての異動と着任の穴が全て埋まっていない。2月頭までにはそこを埋められるように事務所と交渉と重ねていきたいと思っている。

養護教諭の産休・育休があり、ここの穴が埋められていない状況。これも年度当初から何とかして欲しいと要望を出しており、今後も引き続いて要望していきたいと思っている。

町内では藤原校長先生が退職、横田に勤務している内田先生の2名が退職。

< 次回定例会は2月8日（水）午後4時より（予定） >

会 議 録 署 名

署名委員

荒尾勇吉

教育長

松岡武彦